



Kagawa Cyber Security Information

香川県情報セキュリティ連絡ネットワーク通信 Vol. 4

あなたのパスワード大丈夫？

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)、ネットショッピング、ウェブメールや社内ネットワークなど、インターネットを通じたサービスを利用する機会が増えると、どうしても多くなるのがパスワードになります。

最近の不正アクセス(アカウント乗っ取り)被害の主な原因のひとつとして、簡単なパスワードを多数のサイトで使い回していたことが挙げられます。

今回は、個人や企業の情報セキュリティの基本となる「パスワード」の管理について考えていきましょう。

■パスワードクラックの手口例■

- ディクショナリーアタック(辞書攻撃)：辞書や人名録に載っているような単語を組み合わせさせて試していく攻撃手法。一般的な単語と数字の組み合わせをパスワードにしている場合、被害に遭う可能性があります。
- ブルート・フォースアタック(総当たり攻撃)：考えられるすべてのパターンを総当たりで順番に試していく攻撃手法。簡単な文字列や少ない文字数のパスワードである場合、被害に遭う可能性があります。
- パスワードリスト型攻撃：あらかじめ何らかの手法により入手したID・パスワードをリスト化し、複数のウェブサイトでアクセスを試みる攻撃手法。利用者がID・パスワードを使い回していた場合、複数のサイトで被害に遭う可能性があります。

◇被害に遭わないために◇

- サイト毎で違うパスワードを考えよう。
自分だけにしかわからない忘れにくいパスワードを設定する必要があります。
例えば「サイト名(例:Yoichi)」+「電話番号(例:833-0110)」を交互に利用したパスワード「Y8o3i3c0h1i10」といったように、複雑なものをパスワードにするなど、自分だけのルールを作りましょう。
- パスワードをメモしよう。
使い回しをするくらいなら思い切ってパスワードを紙にメモするのも一つの方法です。
当然、その紙は施錠できる場所で厳重に保管する対策は必要です。
ただし、パスワードを紙にメモする場合、「Y8**i3*0h**0」のように一部を伏せ字にして、仮に誰かに見られても分からないものにしましょう。



第10回IPA情報セキュリティ
標語コンクール受賞作品